

『地域と共に！チーム会津支援学校』

校長 杉山 裕恵

会津支援学校として2年目を迎え、新しい校名は、保護者や地域の皆様に身近なものと感じていただけておりますでしょうか。今年度がスタートし、1学期が終わろうとしておりますので、皆様に学校の様子の一場面をお知らせいたします。

さて、今年度は、小学部17名、中学部22名、高等部23名の元気な新入生を迎え、全校児童生徒215名でスタートし、様々な学習活動に取り組んできました。

小学部の運動会では、1年生から6年生までしっかりと目的意識をもち、ゴールを目指して最後まで種目に取り組みました。

中学部では、今年度から6月に校内実習を実施しました。外部委託の仕事を受けて1週間に渡り、真剣に取り組みました。校内実習を終えた生徒が一回り大きく成長したように感じました。

高等部では、5月に福島県障がい者体育大会がいわき市と田村市の2会場で開催されました。部活動で練習した成果を十分に発揮し、近年最多のメダルを獲得することができました。加えて、中学部と同時期の6月には、第1期産業現場等における実習が2週間ありました。2・3年生は校外で、1年生は校内で実習を行い、自己の進路を考える機会となりました。

また、小・中学部のPTA親子行事では、昨年度好評であった「あきらちゃん&タンバリンくん」を再度招き、児童生徒だけでなく保護者の方々も一緒に歌ったり、踊ったりしながら楽しく過ごすことができ、児童生徒の心に響く活動となりました。

1学期は終了しますが、今後も保護者の皆様、関係機関や地域の皆様と連携しながら、児童生徒の充実した学習活動に向けて努力してまいります。

～安全・安心に向けた取り組み～

生徒指導部

生徒指導部では、「安全な生活や通学に向けた指導の充実」、「関係機関と連携し、事件事故の未然防止や早期発見、早期解決」といった重点事項をあげており、全職員が一丸となって指導にあたっています。



1 安全な生活や通学に向けた指導

(1) 通学について

①「通学の手引き」を使って、通学バスの利用や自力通学の捉え方、通学の諸手続等をお知らせしています。これをもとに教員と保護者が連携して「適切な通学方法」や「自立した通学に必要な力」等について考え、指導を行っています。

②下校時、学校から会津若松駅までの通学路において、不審者への警戒や緊急時の対応、交通ルールの遵守に向けた巡回指導を、全職員で行っています。

③各学部とも年に数回、交通安全教室を行い、交通ルールや公共機関の適切な利用の仕方、緊急時の対応等について学習しています。また、外部団体から用具借用の御協力もいただいております。

(2) 生活について

本校の学校安全計画を作成し職員全体へ共通理解を図りながら、安全教育を進めています。高等部においては、性に関する指導や情報モラル指導を実施し、テーマに基づいてグループ別で話し合い活動を行いながら、生徒自身が日頃の自分を振り返るとともに、適切な行動の仕方を身につけられるよい機会としていきたいと思っています。

2 関係機関との連携

①外部講師として会津若松警察署生活安全課署員を招き、「SNSの利便性と危険性」について講話をしていただきました。自分たちの現在の状況や実際に起こった事故や犯罪から、「どういった点が問題なのか」を考えていくことで、生徒たちも自分のこととして捉えながら、学習に取り組んでいました。

②児童生徒が地域で安全に生活できるように、会津地区管内の警察署と連携を取りながら、非行防止や不審者への対応、行方不明時の搜索活動等に協力いただいております。

※「安全」「安心」に対する指導・支援は、学校の中だけでは限界があります。家庭や地域、学校が連携し、協力して子ども達の力を育てていくことが大切だと考えています。

小学部

小学部は17名の新入生と3名の転入生を加え、77名でスタートしました。今年度も月曜日に小学部合同学習『わくわくタイム』を実施し、集団での学びも大切に、さまざまな活動に取り組んでいます。

【入学おめでとう会】「友達になろうね。」とメダルを1年生にプレゼントしたり、みんなで歌やダンスをしたりして盛り上がりました。



【がんばろう運動会】毎年楽しみにしている運動会。みんなで運動会の日や種目を確認したり、運動会の歌を一緒に歌ったりして期待を高めました。



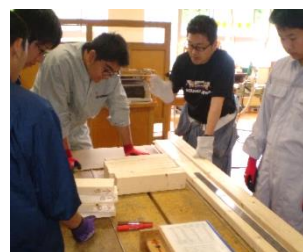
【保健の先生からの話】良い歯の表彰をしたり、夏に向けて、衣服の調節や汗の始末等の話を聞いたりしました。



高等部

今年度の高等部は、23名の新入生を加え総勢81名となりました。高等部は、学年を越えての学習や活動に取り組む機会も多くあります。先輩後輩を問わずお互いの絆を深め、よりよい人間関係を築き合いながら卒業後の進路に向けてみんなが一致団結して学習を行っています。

今年度より、「働く力」を実践的に身に付けることができるように作業学習の時間数を増やしました。産業現場等における実習も1、2年生は年2回、3年生は年3回を予定しています。そうした中で自分の適性や課題を見つめ直し、



仕事に向かうための知識や態度を培っていきます。また、「生活していく力」を高め社会人として健康で自立した生活ができるように、国語、数学、社会、情報などの各教科を通し段階的、実践的に学習を進めていきます。将来、生徒一人一人がそれぞれの地域で自分らしく充実した生活ができるように共に考え、支援していきます。

中学部

今年度は、22名の新入生と2名の転入生を迎え、58名の生徒と35名の職員で、学校生活を送っています。高等部進学や就労など、卒業後の進路選択や社会参加へ向けた学習経験を積む機会が多くなってきます。



【新入生を迎える会】2・3年生が協力し準備と運営に組みました。入場の際は少し緊張した表情の1年生も、最後は笑顔いっぱいであることができました。

【第Ⅰ期校内実習】今年度から高等部と連携し、外注作業も一部受け入れています。



【宿泊学習（2年）】JRを利用し郡山駅周辺の見学等を行い、その後磐梯青少年交流の家で宿泊体験をしました。

【職場見学会（3年）】2学期後半に実施される就業体験学習に向け、事業所へ出向き卒業生等が働く様子を見学しました。次は体験になります。



『本年度の研修について』

今年度の校内研究は「児童生徒が主体的に学ぶことができる授業～児童生徒の内面の育ち（気づきの変化）に視点をあてて」というテーマで研究に取り組んでいます。

小学部中学部高等部の教員が国語や日常生活の指導、作業学習などの21グループに分かれて、日々の授業の中で、児童生徒の皆さんが、何ができるようになるか、何を学ぶか、どのように学ぶか、何が身に付いたかを明確にした授業シートを作成し、グループ内で話し合いを行いながら研究を進めています。

5月23日には植草学園大学の菊地一文先生をお招きして、「児童生徒の内面の育ちをどのように捉えるか」と題した講演会を実施し、新学習指導要領の内容などを学びました。



夏期休業中には、専門性の向上や地域の情報交換などを目的として、実技研修会や関連機関見学研修、全会津特別支援教育セミナーを実施します。